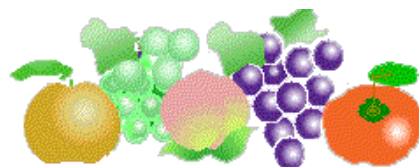


令和4年度 しらかわ果樹情報第2号



令和4年4月13日
福島県県南農林事務所農業振興普及部

1 気象概況

4月1～2半旬の平均気温は9.6℃で、平年より1.5℃高くなりました。また、この期間の降水量は31.0mmで平年比99.5%、日照時間は69.0時間で平年の112.9%でした。

表1 月別気象表（白河市）

平年：1981～2010年

月	半旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比（%）	本年	平年	平年比（%）
4	1	6.3	7.6	-1.3	11.2	13.2	-2.0	2.4	2.4	0.0	27.0	15.5	174	22.3	30.9	72
	2	12.8	8.6	4.2	19.3	14.3	5.0	7.3	3.3	4.0	4.0	16.1	25	46.7	30.4	154
平均・合計		9.6	8.1	1.5	15.3	13.8	1.5	4.9	2.9	2.0	31.0	31.6	99.5	69.0	61.3	112.9

2 向こう1か月の天候の見通し（令和4年4月7日 仙台区気象台発表）

向こう1か月の気温は高い見込みです。降水量はほぼ平年並の見込みです。

週別の気温は、1週目（4/9～4/15）は高い確率80%です。2週目（4/16～4/22）は高い確率50%です。3～4週目（4/23～5/6）は、高い確率50%です。

3 発育状況（令和4年4月12日時点）

展葉はナシ「幸水」が4月12日で平年より5日早く、「豊水」が4月11日で平年より4日早く、リンゴ「ふじ」が4月8日で平年より5日早くなりました（表2）。

開花始はモモ「あかつき」が4月11日で平年より5日早くなりました（表3）

表2 各樹種（品種）の発芽及び展葉状況（白河市）

樹種	品種	発芽観測日			展葉観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	3月30日	3月26日	3月20日	—	—	—
ナシ	幸水	4月6日	4月4日	3月27日	4月12日	4月17日	4月9日
	豊水	3月31日	4月2日	3月24日	4月11日	4月15日	4月5日
リンゴ	ふじ	3月31日	4月2日	3月18日	4月8日	4月13日	4月1日

注1) 平年は1992～2020年の平均値。注2) 調査園はモモ・ナシ：東上野出島、リンゴ：本沼。

表3 各樹種（品種）の開花状況（白河市）

樹種	品種	開花始観測日			開花盛観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	4月11日	4月16日	3月31日	未	4月21日	4月8日
ナシ	幸水	未	4月23日	4月13日	未	4月27日	4月16日
	豊水	未	4月21日	4月8日	未	4月25日	4月13日
リンゴ	ふじ	未	4月29日	4月20日	未	5月4日	4月24日

注1) 平年は1992～2020年の平均値。注2) 調査園はモモ・ナシ：東上野出島、リンゴ：本沼。

4 開花予測（令和4年4月11日時点）

開花始日について果樹研究所（福島市）の発育速度モデル予測を白河地方の生育に当てはめると、2週間予測ではナシ「幸水」が4月19日頃、リンゴ「ふじ」が4月28日頃の見込みです。今後の気温が平年より2℃高く経過した場合はナシ「幸水」が4月21日頃、リンゴ「ふじ」は4月28日頃の見込みです。気温の推移により変動する可能性があります、いずれの予測法においても開花が平年より早まる見込みです。

なお、添付資料「果樹の発育ステージと防霜対策のための温度指標」、「4月12日から2週目までの気温の見通し（福島地方气象台）」も参考にしてください。

表4 発育速度（DVR）モデルによる開花予測日（白河市）

樹種	品種	開花始日		今後の気温経過			2週間予測
		昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い	
ナシ	幸水	4月13日	4月23日	4月22日	4月21日	4月25日	4月19日
リンゴ	ふじ	4月20日	4月29日	5月1日	4月28日	5月4日	4月28日

注1) 平年は1992～2020年の平均値。注2) 調査園はモモ・ナシ：東上野出島、リンゴ：本沼。

注3) 2週間予測とは、2週間までは気象庁が発表している2週間気温予報を反映し、2週間以降の気温は平年並に経過した場合の予測値。

5 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

4月上旬から気温が平年より高く経過したため、全ての樹種で生育が前進しています。前号を参考に防霜対策を万全にして備えましょう。

(2) 人工受粉

開花期の低温や強風、乾燥条件は結実が劣る原因となるので、人工受粉をより丁寧に行いましょう。

人工受粉の際に、花粉を石松子などで増量する場合には事前に発芽率を確認し、発芽率に応じた希釈倍数としましょう（発芽率30%以下の花粉は希釈せずそのまま使用する）。受粉期間中は、花粉をできるだけ涼しい場所（冷蔵庫が望ましい）に密封して保管し、花粉発芽率の低下を防ぎましょう。

6 病虫害防除上の留意点（防除薬剤は、防除暦を参考にしてください。）

(1) 病害

ア リンゴ黒星病

・開花期前後の防除が重要。前年に発生が見られた場合は、開花直前の防除を徹底する。

イ ナシ黒星病

・果樹研での罹病落葉からの子のう胞子の初飛散は4月5日確認。県南地方管内では未観測。
・開花期前後の防除が重要。開花期間が長引き、次回との散布間隔が10日以上あく場合は、今回散布から7日後に追加散布する。ただし、人工受粉当日の使用は避ける。

ウ モモせん孔細菌病（春型枝病斑）

- ・ 県南地方管内における初発生は4月8日に確認された。
- ・ 開花後の薬剤散布は葉に葉害を生じることがあるため、防除時期が遅れないよう注意する。
- ・ せん除は、病斑が発生した1年枝を可能な限り基部から切り戻す（写真1）。
- ・ 発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回実施する。
- ・ 落花直後に本病防除薬剤を使用し、被害防止に努める。

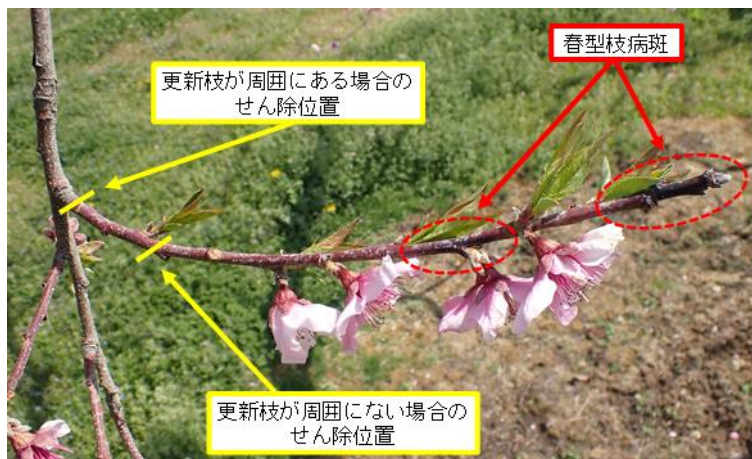


写真1 春型枝病斑のせん除位置

（2）虫害 ※表5参照

ア モモハモグリガ

- ・ 越冬世代成虫の誘殺盛期は、今後の気温が2℃高く経過した場合には4月3半旬頃、第1世代幼虫の防除適期は4月5半旬頃と推定される。
- ・ 今後の気温の推移に応じて、防除は落花10日後頃を目安とする。

イ リンゴモンハマキ

- ・ 越冬世代防除適期は、今後の気温が2℃高く経過した場合には5月2半旬頃、第1世代幼虫の防除適期は5月5半旬頃と推定される（リンゴコカクモンハマキも同様）。
- ・ 昨年、本種の発生が多かった園地や、現在、花や新葉に食害が見られる園地では、リンゴでは落花直後、ナシでは落花1週間後に薬剤散布を行う。

ウ リンゴハダニ

- ・ 越冬卵のふ化盛期は、気温が2℃高く経過した場合には、4月4半旬頃と推定される。
- ・ 越冬卵密度の高い園では、落花後以降の発生密度に注意し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達したら殺ダニ剤を使用する。

表5 果樹研究所における防除時期の推定（令和4年4月11日現在）

今後の気温予測	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ		リンゴハダニ
	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬卵 ふ化盛期
2℃高い	4月14日	4月21日	5月10日	5月24日	4月18日
平年並	4月15日	4月24日	5月18日	6月2日	4月20日
2℃低い	4月17日	4月27日	5月27日	6月13日	4月23日

起算日：3月1日（演算方法は三角法）